

授業科目 法学入門

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・健栄・スポ・看護・情報	
	開講時期	後期	必修選択	選択	
	単位数	2	時間数	30	
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
○	○	○	○	○	
【概要・一般目標：G10】					
医療・福祉関連の専門職業人に求められる法的素養を身につけるとともに、法的問題解決能力の育成を目的とする。 また、教養ある社会人として求められる基礎的な法的知識の習得を目標とする。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 社会において法が果たしている役割について正しく理解する。</li> <li>2 憲法の意義について把握し、法の在り方について学ぶ。</li> <li>3 これからの時代に想定される法的問題を把握し、問題解決の指針を立てられるようにする。</li> <li>4 社会生活における法律問題を学ぶ。</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	法とは何か（社会規範の1つとしての法の特徴のうち、外面的なルールであること、権利と義務に関するルールであることを学ぶ。）				講義
2	人権と政治制度（憲法の意味と基本的人権と政治制度について、日本と諸外国の状況を比較しながら学ぶ。）				講義
3	生活と法（民法の概要と家族生活、財産に関する法について、平等の観点も含めて学ぶ。）				講義
4	企業活動と法（企業の活動の指針、守るべき一定の基準について学ぶ。）				講義
5	犯罪と法（刑法法定主義の意義とその必要性について、憲法の歴史的な流れも含めて学ぶ。）				講義
6	労働と法（労使の関係、労働者の権利を守るべき必要性、利害調整の方法について学ぶ。）				講義
7	教育と法（日本の教育法制について把握するとともに、教育の本質と法の関わり方について学ぶ。）				講義
8	国際社会と法（国際社会における法の在り方、変容していく国際社会に対応するための視点について学ぶ。）				講義
9	医療・福祉と法1（医療・福祉の専門職業人に対する一般的な法規制等について学ぶ。）				講義
10	医療・福祉と法2（病気を抱える患者様の自己決定権、意思の尊重に関する法の現状について学ぶ。）				講義
11	医療・福祉と法3（生命倫理の観点からの法の在り方について学ぶ。）				講義
12	家族と法（婚姻の効果、離婚に関する法規定などを学ぶ。）				講義
13	生命と法（親子法、代理出産などについて学ぶ。）				講義
14	これまでのまとめと現代的な法的課題（これまでのまとめと時事問題等を使用し、現代的な法的課題についての考察をする。）				講義
15	期末試験				
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書		ポケット六法平成25年版	西田典之（編集代表）、高橋宏志（編集代表）、能見善久（編集代表）		2012・1,800円＋税
その他の資料					
【評価方法】 授業中に提示します			【履修上の留意点】 とくになし。		